

平成30年度 第 3 回教育委員会定例会

議決事項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第12号 平成30年度垂水市一般会計補正予算(第1号)案についての市長への意見申出について</p>	<p>平成30年度垂水市一般会計補正予算(第1号)の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第13号 平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について</p>	<p>垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第14号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第15号 垂水市社会教育委員の委嘱について</p>	<p>垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 (任期) 2年</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第12号 平成30年度垂水市立学校評議員の委嘱について</p>	<p>平成30年度垂水市立学校評議員を委嘱しようとするものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

<p>議案第 13 号 垂水市教育支援委員会委員の委 嘱について</p>	<p>垂水市教育支援委員 会委員を委嘱しようと するものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承 認</p>
<p>議案第 14 号 垂水市特別支援連携協議会委員 の委嘱について</p>	<p>垂水市特別支援連携 協議会委員を委嘱しよ うとするものである。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承 認</p>
<p>議案第 15 号 垂水市いじめ問題対策連絡協議 会委員の委嘱について</p>	<p>垂水市いじめ問題対 策連絡協議会委員を委 嘱しようとするもので ある。 (任期) 1年</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承 認</p>

平成30年度第 3 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成30年6月4日(月)</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時10分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 紺屋 昭男</p> <p>学校教育課長 明石 浩久</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成30年度第3回教育委員会定例会を開会した。
議案第12号から第15号の2件は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成30年度第2回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 議 事

- 報告第 12 号 平成30年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への意見申出について
- 報告第 13 号 平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について
- 報告第 14 号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について
- 報告第 15 号 垂水市社会教育委員の委嘱について
- 議案第 12 号 平成30年度垂水市立学校評議員の委嘱について
- 議案第 13 号 垂水市教育支援委員会委員の委嘱について
- 議案第 14 号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について
- 議案第 15 号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

4 その他

5 委員並びに教育長報告及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 12 号
	平成30年度垂水市一般会計補正予算（第 1 号）案についての市長への意見申出について
教育総務課長	補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。
社会教育課長	補正予算の補足説明をした。
	（質疑なし）
	報告第13号
学校教育課長	平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について
	平成30年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。
中谷委員	経歴等について教えてほしい
学校教育課長	中央地区に在住で、教員ではなく民間出身で、ここ数年放課後学習会等の活動を行っている方である。
中谷委員	毎日の勤務か。
学校教育課長	そのとおりだ。
	報告第14号
学校教育課長	垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について
	垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。
	（質疑なし）
	報告第15号
社会教育課長	垂水市社会教育委員の委嘱について
	垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告した。
	（質疑なし）
	議案第12号
	平成 30 年度垂水市立学校評議員の委嘱について
	（非公開）
	議案第 13 号
	垂水市教育支援委員会委員の委嘱について
	（非公開）

	<p>議案第 14 号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について (非公開)</p>
	<p>議案第 15 号 垂水市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について (非公開)</p>
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。
野村委員	<p>1. 「子どもたちの夢と感動を育む絵画ギャラリー オープニングセレモニーについて」</p> <p>5月20日(日)は大変充実した日であった。生涯学習オープニングフェアがあった後、市民館の玄関ロビーが、ちょっとした工夫で、たいへん洒落た展示コーナーに変身していた。</p> <p>市内の小中学生の作品を、市民館玄関ロビーに一堂に集め、展示することで、児童生徒をはじめ市民の皆様に、絵画の世界に親しみ楽しんでほしいというものであった。これから、もっと充実した展示になり、来場者も増え、気持ちが安らぐ落ち着いたサロンができて上がるものと期待している。そして、市内の小中学生の皆さんすべてが、このコーナーへの出品を目指すような栄誉あるサロンに発展することを願っている。</p> <p>2. 「和田英作記念碑モニュメント移転建立セレモニーについて」</p> <p>今年、垂水市制施行60周年、瀬戸口藤吉生誕150年、明治維新150周年にあたる節目の年であることから、周年事業が目白押しである。</p> <p>このような意識高揚の中、偉大な芸術家である瀬戸口藤吉氏と和田英作氏の功績を称え、垂水市民はもちろん多くの方々に周知宣伝するために、新たに顕彰碑を移転し、お二人の偉業を称えるというものであった。</p> <p>5月20日のこの日は、和田英作記念モニュメントのみのセレモニーであった。</p> <p>今まで設置されていた鹿児島神社境内も静かな雰囲気でのいい環境で良かったが、何かの行事の時以外は訪れる人がとにかく少ないという難点があった。「日の目を見る」という言葉があるが、今回の移転と新たなモニュメントの建立により、われわれ携わるものはもちろん、多くの市民の皆様への誇りある郷土の文化、また歴史認識と新たな郷土愛の高まりが望めるのではないかと期待したいと思う。これからは、文化会館正面のメイン広場</p>

<p>中谷委員</p>	<p>の最良の場所ということで、常時訪れる市民の皆さんの視線の的になるものと思っている。</p> <p>1. 「朝のスクールバス添乗について」 5月14日(月)、中央中の朝のスクールバスに添乗した。今回は、ボランティアの人数が多くて、1台に3名乗車した。 せっかくなので、バスの一番後ろに乗り、全体を見渡せるようにした。いつもと変わらず安全運転の中、生徒も静かな中に友達と会話する光景もあった。学校に着くと、校長先生をはじめ、教頭先生、諸先生の迎えがあり、このような愛情いっぱいの姿があるからこそ、落ち着いた中学校でいられるのだと、うれしくなった。</p> <p>2. 「地域とのふれ合いについて」 5月22日(火)に、自宅で突然の食事会を企て、柗原小学校の校長先生、教頭先生、奥様方、公民館長やその他多くの方にお越しいただいた。 校長先生が、新校長としての初任校であったので、できるだけ地域の方々とのふれ合いを設定した。また、これからもみんなで取組んでいこうと思う。地域の大事な学校なので。</p> <p>3. 「顔合わせと学校訪問について」 5月24日(木)は、民生委員の主任児童委員3名と福德先生の4名で、中学校と小学校8校を訪問させていただいた。 学校には、地区担当の先生がいらっしゃるもので、顔合わせと相談、お互いの連携を確認することであった。</p> <p>4. 「おろごめについて」 6月3日(日)に柗原地区の「おろごめ」が開催された。児童19人、今年1年生が9名入学したので賑やかになった。 親頭(おやがしら)の6年生男児一人ではあったが、数年前にも柗原小と一緒に登校していたカナダからの兄弟が参加してくれて、更に賑わいを見せた。 この兄弟の祭りへの対応力は頼もしく「おろごめ」にすんなりと入り、力いっぱい動いていたことへの驚きと、この兄弟に感謝、感謝という気持ちであった。 朝4時からのスタートではあったが、地域の皆さんの力を合わせた伝統行事に、「子どもたちよ、大きく育て」との願いがたっぷりの柗原地区の朝であった。子どもたちの必死の戦いに、大人たちは元気をもらった。</p>
<p>葛迫委員</p>	<p>1. 「ワダコンの実行委員会について」 5月15日(火)は生涯学習会議、5月20日(日)は生涯学習オープニングフェアなどに出席した。 5月24日(木)は、第5回 和田英作・和田香苗記念絵画コンクール(ワダコン)の開催期間が、12月16日(日)～12月23日(日)、展示場所につい</p>

ては、昨年と同じく、一般部門が市民館大ホール、ジュニア部門が文化会館エントランスロビーに決定した。

開催要項は、テーマや応募規定、出品料、審査員は昨年と同じではあるが、ジュニア部門の奨励賞が昨年まで賞状のみであったが、「子どもの夢を大切にしたい」という願いから新たに賞品が追加されることとなった。日程は昨年より一か月程度早まり、作品搬入が12月2日(日)、審査が12月7日(金)、発表が12月10日(月)、展覧会は16日(日)～23日(日)で、ギャラリートークが23日(日)午後1時半から、作品搬出は23日(日)午後3時以降に決まった。

テーマの「ふるさとの山河を描こう」に関して、素晴らしいテーマであるという意見が出された。和田英作の絵画を見ると、その生きていた時代の風俗や生活感が随所に見え、和田自身の心象風景が多く作品には描かれている。「ふるさとの山河を描こう」というテーマには、出品者の内なる心の想いを山河として描いてほしいという思いがあった。

実行委員会では、「出品作品に本当の額縁を付けての出品はどうしてだめなのか」という意見も出たが、額縁の破損や他の作品との見栄えの比較に大きな差が生じることから、仮の額縁で出品する旨が要項に記載されているということであった。また、5月20日(日)には和田英作顕彰碑移転・記念モニュメントセレモニーが開催され、その記念碑に和田賞受賞者の名前が刻印されることで、今後出品者の大きな目標となり、優秀な作品が集まるものと期待している。

教育長

1. 「学校訪問について」

学校訪問が始まったが、本年度は校長が5校代わり、教頭が2校替わった。管理職の影響力は非常に大きいということもあり、職員が、子どもが、学校が、保護者が変わる大きなチャンスなのかなと思う。

教育委員の皆様方には、いつも厳しい中にも、細部に温かい言葉をかけていただき学校も元気になっていくのではないかと考えている。また一方では緊張感も大事だと思っている。頑張っているところは褒めていただき、課題については指摘していただき、学校を良い方向へ導いていただきたい。これから続く学校訪問でもよろしくお願ひしたい。

2. 「第20回瀬戸口藤吉翁記念コンクールについて」

今年は瀬戸口藤吉翁生誕150周年、市政施行60周年、第20回大会ということで22団体の参加があった。コンクールでは松陽高等学校が見事にグランプリを獲得した。

閉会后、客席の間のゴミを拾う子どもたちの姿があった。都城西中学校の生徒で、その姿にスタッフを含め感動した。次回は是非グランプリを獲得してくださいと声掛けすることであった。ただ音楽だけではなく、この学校は心も育てているのかなと思うことであった。そのような姿を見ることで嬉しく、すがすがしさを感じ、会場を後にした。また、いつも思うのは市職員の動きの素晴らしさである。あれだけのものを、準備、運営、片付けまでできるのは、まず無いのではないかとと思う。関わったすべての職員に感謝する。結果、多くの方々に喜んでいただけた記念大会であったと思っ

ている。来年度以降も方向性を見据えたうえで、改善を加えながら、良い大会にしていきたいと思っている。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

5月11日から6月4日までの主な行事等について報告。
併せて、7月10日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会